

視点・論点

3月定例会

3月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務文教委員会

委員長 長能 文代

三月定例会に付託された一〇議案は全員賛成で、すべて可決された。

平成二十一年度一般会計補正予算(第七号)では、奴国展示館用途変更設計や、中学校校内LAN整備工事請負費の大幅な減額について議論がなされ、当初予算額が過大ではなかったのか。今後は実情に見合った予算化を行ってほしい。などの意見が出された。

また、「個人情報保護条例の一部改正」については、情報機器からの外部提供禁止や開示請求の補正・却下などの改正であったが、これらは制定当初から整備すべきではなかったのか。との質疑が出され、指摘の通りだが、外部提供されている住民記録等は、従前から十分な個人情報保護システムの運用を行っている。との説明がなされた。

「市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正」では、人員配置の精選や代休時間の確保を求める意見が出された。

「野外活動場設置条例の廃止」

では、災害に伴う被害の復旧の困難性や財政的見地から廃止する旨の説明をつけ、解体後の安全性及び予算内での執行を求める意見などが出された。



総務文教委員長報告

市民厚生委員会

委員長 塚本 良治

当委員会に付託された議案十二件については全て全員賛成で可決し、請願一件については賛成多数で採択しました。

「平成二十一年度国民健康保険事業特別会計予算については、特定健康診査の受診率向上にむけて最大限努力していただくよう要望しました。

「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する請願につ

いて」は、反対討論として、二世以下の永住者は日本で生まれ育ち、その生活実態は日本人と変わらない。地方の住民として税金を納め、地域の様々な役割を担っている永住外国人に対しては、地位向上のために一定の条件の下に地方参政権を認めるべきであるとの意見が出されました。

また、賛成討論として、地方参政権付与については、まず憲法第十五条を改正した後に議論するべきである。また、帰化による国籍の確保をしやすくするために、政府は手続きを簡略化するべきである。また、今回検討されているような一般永住者にして範囲を広げるべきではなく、今の段階では、時期尚早と考えるなどの意見が出されました。



市民厚生委員長報告

地域建設委員会

委員長 野口 明美

今期定例会で付託された議案七件は全員賛成で可決・承認された。「春日市消防団員の定員及び服務等に関する条例の一部改正について」は、消防団の充実を図り、一層の地域防災力の向上に資するため、本部付の団員を十人増員し、広報活動等を強化するものである旨の説明を受けた。委員から、団員の待遇や女性団員の募集・活用などの質疑が出され、団員の待遇については各分団と十分な協議を行い、募集は男女を問わない等の答弁を受け、全員賛成で可決された。

「春日市暴力団排除条例の制定について」は、市民の安全で平穏な生活を確保し、春日市における社会経済活動の健全な発展を図るため、暴力団の排除に関する基本理念等を定めるもので、条例制定に向けての過程や条例案の提出時期、条例案中の事業者の位置付けなどについて質疑応答がなされ、全員賛成で可決された。「平成二十一年度春日市下水道事業会計予算について」

は、当初予算に関する説明書の節別明細表を中心に慎重に審査を行い、下水道の未接続世帯への水酸化促進等で使用料収入を確保してほしいとの要望が出され、全員賛成で可決された。



地域建設委員会現地調査

予算審査特別委員会

委員長 前田 俊雄

平成二十二年度一般会計の歳入歳出、それぞれの総額は、二七六億三、一七九万七千円で、対前年度当初比、十八億四、〇六〇万二千円の増額、率にして七・一%の増となっている。

歳入関係では、税収が引き続き落ち込む中での、前年度を上回る予算総額に対し、その裏付けとなる歳入に関心が集まり、根幹をなす市税は、対前年度当

初比で七、五六一万五千円の減額、国税からの配分となる普通地方交付税と特別交付税を合計した地方交付税は、対前年度当初比で三億二、九五三万七千円の増額となっているものの、臨時財政対策債が、対前年度当初比二九・八%増の十七億二、三四〇万円となっていることから、臨時財政対策債について、後年度における償還額に対する国の措置が議論となった。また、他の歳入科目においても細部にわたって質疑、意見が出された。歳入関係で議論が集中したのが、奴国展示館用途変更工事、問題を抱える子ども等の自立支援事業、(一)の広場事業であった。その他、狭あい道路整備事業費、地区公民館等維持補修費についての質疑、意見が出された。



予算審査特別委員会

議決結果 (賛否が分かれた案件)

※その他の案件については全員賛成で可決されました。

平成22年第1回(3月)定例会 件名	創政会				公明党				近未来21		薫風		日本共産党		衆政会		議決結果			
	竹下尚志	友廣英司	柴田英明	與國洋	坂本靖男	松尾嘉三	岩切幹嘉	吉村敦子	前田俊雄	野口明美	金堂清之	大久保妙子	武末哲治	藤井俊雄	近藤幸恵	村山正美		長能文代	五藤源寿	塚本良治
平成22年度春日市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決	
平成22年度春日市後期高齢者医療事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	原案可決
永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する請願について	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	○	○	採択
永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書について	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	○	○	原案可決

※各会派の所属議員の党派は次のとおり (原案について ○賛成 ●反対)
 ■創政会〔無所属⑦〕 ■公明党〔公明党④〕 ■近未来21〔無所属③〕
 ■薫風〔無所属②〕 ■日本共産党〔日本共産党②〕 ■衆政会〔無所属②〕
 ※松尾浩孝議員(創政会)は議長職のため、表決権はありません。

三月定例会 会期日程

- 一日 本会議(議案の上程、提案理由の説明)
- 二日 休会(議案の考案)
- 三日 休会(議案の考案)
- 四日 本会議(議案質疑、委員会付託)
議会議事委員会
- 五日 予算審査特別委員会
各常任委員会(議案審査)
- 六日 休会(閉庁)
- 七日 休会(閉庁)
- 八日 各常任委員会(議案審査)
- 九日 予算審査特別委員会
議会議事委員会
議会議事委員会
- 十日 本会議(補正予算採決)
予算審査特別委員会
- 十一日 予算審査特別委員会
- 十二日 各常任委員会(議案審査)
- 十三日 休会(閉庁)
- 十四日 休会(閉庁)
- 十五日 休会
- 十六日 本会議(一般質問)
- 十七日 本会議(一般質問)
- 十八日 予算審査特別委員会
- 十九日 各常任委員会(議案採決)
- 二十日 休会(閉庁)
- 二十一日 休会(閉庁)
- 二十二日 休会(閉庁)
- 二十三日 予算審査特別委員会(議案採決)
- 二十四日 議会議事委員会
- 二十五日 本会議(各常任委員長報告、質疑、討論、採決)